

※運転1時間当たり燃料消費率改正に伴う燃料消費量の見直しによる。

頁	燃料消費量		修正箇所
	正	誤	
275	16	18	10-6中詰砕石工1m ³ 当り単価表の(4)軽油の数量欄と、表10.4バックホウの燃料消費量の燃料消費量(ℓ/時間)
440	9.2	11	コンクリート分水槽据付1基当り単価表の(6)軽油の数量欄と、表5.1機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)
611	9.2	11.0	暗渠排水管布設1m当り単価表の(10)軽油の数量欄
612	9.2	11	表3.5バックホウ機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)
656	20	23	表5.1リッパドーザ機械運転数量の排出ガス対策型(第1次基準値)18t級の燃料消費量(ℓ/時間)
〃	35	40	表5.1リッパドーザ機械運転数量の排出ガス対策型(第1次基準値)32t級の燃料消費量(ℓ/時間)
658	12	14	表4.1アングルドーザ機械運転数量の排出ガス対策型(第1次基準値)11t級の燃料消費量(ℓ/時間)
〃	15	18	表4.1アングルドーザ機械運転数量の排出ガス対策型(第1次基準値)15t級の燃料消費量(ℓ/時間)
664	12	14	表5.1ブルドーザ、レーキドーザ機械運転数量のブルドーザ11t級の燃料消費量(ℓ/時間)
〃	15	18	表5.1ブルドーザ、レーキドーザ機械運転数量のブルドーザ15t級の燃料消費量(ℓ/時間)
〃	23	27	表5.1ブルドーザ、レーキドーザ機械運転数量のブルドーザ21t級の燃料消費量(ℓ/時間)
669	9.2	11	有機資材散布(マニアスプレッド)1ha当り単価表の(7)軽油の数量欄
670	9.2	11	表5.1トラクタ、バックホウ、マニアスプレッド機械運転数量のバックホウ(クローラ型)排出ガス対策型(第1次基準値)の燃料消費量(ℓ/時間)
743	9.8	11.0	6-1じゃかご(ふとんかご)1m当り単価表の(8)軽油の数量欄と、表6.1じゃかご施工機械運転数量のバックホウの燃料消費量(ℓ/時間)
744	9.8	11.0	表6.2ふとんかご施工機械運転数量のバックホウの燃料消費量(ℓ/時間)
789	280	240	表5.3発動発電機運転数量の常時排水、0以上～6未満、従来型、2kVA、1.1、の燃料消費量
795	6.3	6.2	4-1釜場掘削・設置1箇所当り単価表の(6)軽油の数量欄
〃	6.3	6.2	4-2釜場撤去・埋戻1箇所当り単価表の(7)軽油の数量欄
813	6.3	6.2	表6.1掘削深区分ごとのバックホウ機械運転数量の掘削深区分3mまでの軽油(ℓ/時間)
〃	9.2	9.1	表6.1掘削深区分ごとのバックホウ機械運転数量の掘削深区分4mまでの軽油(ℓ/時間)
843	42	48	道路補修1路線当り単価表の(4)軽油の数量欄と、表5.2ブルドーザ機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)
〃	(ℓ/100m ³)	(ℓ/時間)	表5.2ブルドーザ機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)の単位
876	表5.7×107	10/N×107	6-6油圧式杭圧入引抜機据付・解体1回当り単価表の(7)軽油の数量欄
〃	表5.7×1.0	10/N×1.0	6-6油圧式杭圧入引抜機据付・解体1回当り単価表の(8)運転手(特殊)の数量欄
884	45	50	6-1鋼矢板圧入10枚当り単価表(Nmax≤25)の(13)軽油の数量欄
885	45	50	6-2鋼矢板圧入10枚当り単価表(Nmax≤50)の(15)軽油の数量欄
886	45	50	6-3継鋼矢板圧入10枚当り単価表(Nmax≤25)の(14)軽油の数量欄
887	45	50	6-4継鋼矢板圧入10枚当り単価表(Nmax≤50)の(16)軽油の数量欄
888	45	50	6-5油圧式杭圧入引抜機据付・解体1回当り単価表の(12)軽油の数量欄
969	16	18	10-6中詰砕石工1m ³ 当り単価表の(4)軽油の数量欄と、表10.4バックホウの燃料消費量の燃料消費量(ℓ/時間)
1050	20	23	表5.1リッパドーザ機械運転数量の排出ガス対策型(第1次基準値)18t級の燃料消費量(ℓ/時間)
〃	35	40	表5.1リッパドーザ機械運転数量の排出ガス対策型(第1次基準値)32t級の燃料消費量(ℓ/時間)
1148	9.8	11.0	5-1吹付法面人力取壊1m ² 当り単価表の(8)軽油の数量欄と、表5.1バックホウ(集積積込)機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)
1149	9.8(9.8)	11.0(11.0)	5-2吹付法面機械取壊工1m ² 当り単価表の(3)と(8)軽油の数量欄と、表5.2バックホウ(取壊し)機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)
1205	9.2	11	マンホール1基当り据付単価表の(6)軽油の数量欄と、表5.1機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)
1208	9.2	11	路面排水用L型側溝据付1m当り単価表の(6)軽油の数量欄と、表5.2バックホウ機械運転数量の消費燃料(ℓ/時間)
1220	(ℓ/時間)	(ℓ/日)	表4.1機械運転数量の燃料消費量(ℓ/日)の単位
1236	12	14	表4.1ブルドーザ機械運転数量のブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通11t級の燃料消費量(ℓ/時間)
〃	15	18	表4.1ブルドーザ機械運転数量のブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通15t級の燃料消費量(ℓ/時間)
〃	23	27	表4.1ブルドーザ機械運転数量のブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通21t級の燃料消費量(ℓ/時間)
〃	32	36	表4.1ブルドーザ機械運転数量のブルドーザ排出ガス対策型(第1次基準値)普通32t級の燃料消費量(ℓ/時間)
1277	(ℓ/時間)	(ℓ/日)	表7.2散布機械運転数量の燃料消費量(ℓ/日)の単位
1385	(ℓ/日)	(ℓ/時間)	表5.1バックホウ機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)の単位
1408	9.8	11.0	5-1吹付法面人力取壊1m ² 当り単価表の(8)軽油の数量欄と、表5.1バックホウ(集積積込)機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)
1409	9.8(9.8)	11.0(11.0)	5-2吹付法面機械取壊工1m ² 当り単価表の(3)と(8)軽油の数量欄と、表5.2バックホウ(取壊し)機械運転数量の燃料消費量(ℓ/時間)

平成28年7月13日

「施工パッケージ型積算方式の試行について一部改正」に伴う「土地改良工事積算マニュアル（土木工事）平成28年度版」の修正と「正誤」のお知らせ

「土地改良工事積算基準（土木工事）平成28年度」について、施工パッケージ型積算方式の試行について一部改正があり、これに伴い修正が必要となったため、改正内容を踏まえ「差し替え用ページ」を整理しましたので、HPよりダウンロードの上差し替え修正をお願いいたします。

また、誤りも数点ありましたので誠に申し訳ありませんが、併せて修正をお願いいたします。

I. 「土地改良工事積算基準（土木工事）平成28年度」の改正内容

1. 施工パッケージ型積算方式の試行についての一部改正について

1. 土工 ②土工 3. 施工パッケージ 3-4 路体（築堤）盛土・埋戻の施工幅員2.5m未満の削除と3-5 路床盛土の平均幅員2.5m未満の削除

2. 土地改良事業等請負工事標準歩掛の一部改正について

上記、施工パッケージ型積算方式の試行についての一部改正に於いて、路体（築堤）盛土・埋戻及び路床盛土の2.5m未満が削除されたことに伴い、これに対応すべく、平成28年10月1日から適用の標準歩掛を追加整備する。

内容は、1. 土工 ③機械施工の共通事項の機種選定表の整備 ⑤振動ローラ締固めの追加 8. 道路工、①路体・路床工の整備

（新旧対照表は、HPの出版物目録「土地改良工事積算基準（土木工事）平成28年度」備考欄に掲載）

II. 土木工事改正に伴うページの差し替え

「土地改良工事積算マニュアル（土木工事）平成28年度版」の「差し替え用ページ」

①目次 ②938～939ページ ③941ページ ④1008ページ ⑤1461～1462ページ ⑥1464～1466ページ

（939ページは938ページの修正に伴って（参考）を939ページに移動したため差し替える。1466ページは削除し白紙とするため、差し替え用紙は無い。）

III. 正誤表

「土地改良工事積算マニュアル（土木工事）平成28年度版」の「正誤ページ」

①615ページ ②843ページ

1. 土工	
① 土量変化率	933
② 人力土工	936
③ 機械施工の共通事項	937
④ ブルドーザ押土	940
⑤ 振動ローラ締固め（施工単価構成内訳未掲載）	941
⑥ 盛土・埋戻	941
⑦ 不整地運搬	941
⑧ 人力荒仕上げ	941
⑨ 管水路基礎岩盤整形工（基面）	941
2. 共通工	
① かご工	942
② ネットフェンス工	942
③ 防護柵等の支柱削孔	942
④ コンクリートブロック積（張）工	942
⑤ 裏込工（ブロック積・ブロック張）	942
⑥ 補強土壁工（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁）	943
⑦ 補強土壁工（ジオテキスタイル工）	950
⑧ プレキャスト擁壁工	958
⑨ 人力小運搬	963
⑩ 機械（不整地運搬車）小運搬	963
⑪ 境界杭設置工	963
⑫ 枠内中詰工（植生土のう）	963
⑬ プレキャスト法枠工	964
⑭ アンカー工（ロータリーパーカッション式）	970
⑮ 芝付工	970
⑯ 安定処理工（自走式土質改良工）	970
3. コンクリート工	
① 裏込砕石工	971
② 基礎栗石工	973
③ ダウエルバー取付	973
④ コンクリート打設足場工	973
4. 基礎工	
① 鋼管・既製コンクリート杭工（パイルハンマ工）	974
② 既製杭の杭頭処理工	975
③ 既製コンクリート杭カットオフ工	976
④ 鋼管・既製コンクリート杭工（中掘工）	976
⑤ 場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）	976
⑥ 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）	976
⑦ 場所打杭工（アースオーガ工・硬質地盤アースオーガ）	976
⑧ 場所打杭工（リバースサーキュレーション工）（施工単価構成内訳未掲載）	976
⑨ 粉体噴射攪拌工（DJM工法）（施工単価構成内訳未掲載）	977
⑩ 軟弱地盤処理工（スラリー攪拌工）	982

1-3-2 機種選定表（掘削・運土作業）

表 1.4 機種選定表（掘削・運土作業）

機 種	規 格	適 用 区 分
スクレープドーザ （農用地造成工事）	8m ³ 級	対象土量が 10,000m ³ 以上の場合
被けん引式 スクレーパ （農用地造成工事）	12m ³ 級 17m ³ 級	対象土量が 10,000～30,000m ³ 未満の場合 " 30,000m ³ 以上の場合
レーキドーザ （農用地造成工事）	11 t 級 15 t 級 21 t 級	対象面積が 2ha 未満の場合 " 2～10ha 未満の場合 " 10ha 以上の場合

- (注) 1. 上表で示す土量は、1 工事当りの扱い土量である。
2. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。

1-3-3 機種選定表（締固め作業）

表 1.5 機種選定表（路床・路体・築堤・埋戻）

使 用 機 種		摘 要
機 種	規 格	
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンパクト型3～4t	締固め幅が 1.0m 以上 2.5m 未満の場合
	ハンドガイド式0.8～1.1t	締固め幅が 1.0m 未満の場合
振 動 コ ン パ ク タ	前進型 90 kg	構造物付近等で振動ローラの使用が不適当な場合、 且つ締固め幅が 45 cm 以上の場合
タ ン パ	60～80 kg	構造物付近等で振動ローラの使用が不適当な場合、 且つ締固め幅が 35 cm 以上の場合

表 1.6 機種選定表（埋戻し）

使 用 機 種		摘 要
機 種	規 格	
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンパクト型3～4t	締固め幅が1.0m以上2.5m未満の場合で、且つ対象 土量が500m ³ 以上の場合
	ハンドガイド式0.8～1.1t	構造物付近等の搭乗式振動ローラの使用が不適当な場 合で、締固め幅が1.0m以上の場合
振 動 コ ン パ ク タ	前進型90kg	締固め幅が45cm以上の場合
タ ン パ	60～80kg	締固め幅が35cm以上の場合

- (注) 上表で示す土量は、1 工事当りの扱い土量である。

(参考)

○建設機械の走行に必要なコーン支持力値の目安

建設機械の走行に必要なコーン支持力値の目安は下表による。

参表 地耐力による適用機種標準

機 種	コーン支持力値	載荷時接地圧
スクレープドーザ	600 kN/m ² 以上	41～56 kPa
被けん引式スクレーパ	700 "	130～140
不整地運搬車 クローラ型油圧ダンプ式 2 t	—	44～52
" クローラ型クレーン装置付 3.5 t	—	30～31

- (注) 1. コーン支持力値は深さ 50cm 程度までの平均値である。
 2. コーン支持力値とは、ポータブルコーン貫入試験により得られるコーン貫入抵抗を示す。
 3. こね返しがある場合は上表を参考にして機種を選定を行う。

(参考)

○その他（組合せ機械の施工）

施工機械を 2 種類以上組合せ、目的とする作業を行うことを、「組合せ機械の施工」という。

以下に、これについての概要を示す。

1. 「組合せ機械の施工」における作業形態

- ① 複数の機械を組み立て、又は連結して 1 つの作業を行う場合。
- ② 複数の機械が、それぞれ異なった作業を、一貫した作業順序に従い不可分の関係で作業を行う場合で、作業能力等を決定する主要因となる機械（以下、「主機械」と言う。）の作業能力又は運転時間に、他の機械（以下、「従属機械」と言う。）の作業能力又は運転時間が拘束される場合。

2. 「組合せ機械の施工」における運転時間等の調整

- ① 前項①は、機械を組み合わせることにより目的とする作業を行うことができるもので、施工能力は、歩掛においてその算定式が示されていることが一般的である。

なお、この場合の積算における従属機械の機械損料の算出に当たっては、主機械の運転時間又は運転日数により調整した額とする。

[例]

被けん引式スクレーパは、けん引機械であるトラクタと連結し作業することとなる（主機械：スクレーパ、従属機械：トラクタ）。この場合、トラクタの機械損料の算出における運転 1 日当り運転時間（日数）及び供用日当り運転時間（日数）は、主機械であるスクレーパの数値を用いる。

- ② 前項②は、現場施工条件の制約等により、主機械の施工能力又は運転時間に、従属機械の施工能力又は運転時間が拘束されるため、従属機械の施工能力の算出に当たっては、この拘束される時間をサイクルタイム等により調整するとともに、機械損料の算出においても、拘束された時間を考慮した運転時間又は運転日数により調整した額とする。

なお、これらのことは、通常の土工作业であれば、歩掛において加味（サイクルタイム又は日当り施工量として）されているため、特段考慮する必要はない。

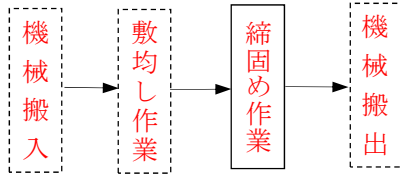
⑤ 振動ローラ締固め

1. 適用範囲及び施工概要

1-1 適用範囲

本歩掛は、施工幅員が 2.5m未滿の路体・路床・築堤及び構造物の埋戻に伴う締固め作業に適用する。

1-2 施工概要（施工フロー）



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2. 施工歩掛

各作業の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 2. 1 日当り施工量

（1日当り施工量）

工 種	規 格	単 位	数 量
路 床	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3～4t	m ³	78
	ハンドガイド式 0.8～1.1t	〃	43
路 体 築 堤	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3～4t	〃	86
	ハンドガイド式 0.8～1.1t	〃	50
埋 戻	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3～4t	〃	86
	ハンドガイド式 0.8～1.1t	〃	50

3. 単価表

（1）振動ローラ締固め 100m³ 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
振 動 ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3～4t、 又は ハンドガイド式 0.8～1.1t	日	100/D	表 2. 1
計				

（注） D：日当り作業量（表 2. 1）

（2）機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第1次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3～4t 級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械賃料数量→1.60
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.8～1.1t 級	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.3 機械賃料数量→1.44

⑥ 盛土・埋戻

⑦ 不整地運搬

⑧ 人力荒仕上げ

⑨ 管水路基礎岩盤整形工（基面）

上記の歩掛は、平成 28 年 9 月 30 日までの入札に適用する標準歩掛（1. 土工）による。

8. 道 路 工

① 路体・路床工

「施工パッケージ型積算基準1. 土工②土工1-1-4路体（築堤）盛土・埋戻、1-1-5路床盛土」による。
ただし、幅2.5m未満での作業は、「土地改良事業等請負工事標準歩掛 1. 土工 ⑤振動ローラ締固め」による。

(参考)

○路体・路床の造成において、「施工パッケージ型積算基準1. 土工②土工1-1-4路体（築堤）盛土・埋戻及び1-1-5路床盛土」が適用できない場合の参考となる歩掛について

「土地改良事業等請負工事標準歩掛1. 土工⑤盛土・埋戻」によるものとし、施工条件に適する機械・工法等の選定を行うものとする。

3-4 路体(築堤)盛土・埋戻

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 22 路体(築堤)盛土・埋戻 積算条件区分一覧

(積算単位：m³)

施工幅員	作業形態	土質	施工数量	障害の有無	
2.5m以上4.0m未満	—	—	—	—	
4.0m以上	敷均し+締固め	—	10,000m ³ 未満	無し	
			10,000m ³ 以上	有り	
	敷均し締固め		高含水比粘性土以外	10,000m ³ 未満	無し
				10,000m ³ 以上	有り
	高含水比粘性土	—	—	無し	
			—	有り	

- (注) 1. 上表は、路体又は築堤及び埋戻の自工区内で掘削又は、作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場(仮置場)で採取し運搬してくる土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
2. 施工数量は、1工事当りの全体盛土量(施工幅員4.0m以上の合計盛土量)とする。
3. 作業形態
- ①敷均し+締固め：敷均しと締固めの作業をそれぞれ異なる施工機械で行うと想定する場合。
 - ②敷均し締固め：盛土材料がタイヤローラの締固めに適さない土質(砂等)の場合。
4. 障害の有無
- ①無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。(例えば、築堤工事等)
 - ②有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合。(例えば、現道上の工事、拡築(腹付、嵩上)工事等)
5. 高含水比粘性土：バケットやブレード(排土板)等に付着しやすく、特にトラフィカビリティが不足する等問題となりやすいもの。(条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土等)
6. 土量は、締固め後の土量とする。
7. 構造物上30～60cmの埋戻の場合、施工幅員が2.5m以上であっても2.5m未満を適用する。
8. 幅2.5m未満での作業は、「土地改良事業等請負工事標準歩掛(平成28年10月1日から適用) 1. 土工 ⑤振動ローラ締固め」による。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 23 路体(築堤)盛土・埋戻 代表機労材規格一覧

施工幅員	作業形態	土質	項目	代表機労材規格	備考	
2.5m以上 4.0m未満	-	-	機械	K1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3 t 級	
				K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4 t	賃料
				K3	-	
			労務	R1	運転手 (特殊)	
				R2	普通作業員	
				R3	-	
				R4	-	
			材料	Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油	
				Z2	-	
				Z3	-	
Z4	-					
市場単価	S	-				
4.0m以上	敷均し +締固め	-	機械	K1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 15 t 級	施工数量10,000m ³ 未満の場合
				K1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 21 t 級	施工数量10,000m ³ 以上の場合
				K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 質量8~20 t	賃料
			K3	-		
			労務	R1	運転手 (特殊)	
				R2	普通作業員	
				R3	-	
				R4	-	
			材料	Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油	
				Z2	-	
	Z3	-				
	Z4	-				
	市場単価	S	-			
	敷均し 締固め	高含水比 粘性土 以外	機械	K1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 15 t 級	施工数量10,000m ³ 未満の場合
				K1	ブルドーザ [普通・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 21 t 級	施工数量10,000m ³ 以上の場合
				K2	-	
			K3	-		
			労務	R1	運転手 (特殊)	
				R2	普通作業員	
				R3	-	
R4				-		
材料			Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油		
			Z2	-		
	Z3	-				
	Z4	-				
市場単価	S	-				
高含水比 粘性土	機械	K1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16 t 級			
		K2	-			
		K3	-			
	労務	R1	運転手 (特殊)			
		R2	普通作業員			
		R3	-			
		R4	-			
	材料	Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油			
Z2		-				
Z3		-				
市場単価	S	-				

3-5 路床盛土

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 24 路床盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)

平均幅員	施工数量	障害の有無
2.5m以上4.0m未満	—	—
4.0m以上	10,000m ³ 未満	無し
		有り
	10,000m ³ 以上	無し
		有り

- (注) 1. 上表は、路床の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場（仮置場）で採取し運搬して来る土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 施工数量は、1工事当りの全体盛土量（平均幅員4.0m以上の合計盛土量）とする。
3. 平均幅員＝断面図の（上幅＋下幅）×1/2
4. 土量は、締固め後の土量とする。
5. 障害の有無
- ①無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。（例えば、新設の築堤工事等）
- ②有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合。（例えば、現道上の工事、あるいは拡張（腹付、嵩上）工事等）
6. 幅2.5m未満での作業は、「土地改良事業等請負工事標準歩掛（平成28年10月1日から適用） 1. 土工 ⑤振動ローラ締固め」による。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 25 路床盛土 代表機労材規格一覧

平均幅	施工数量	項目	代表機労材規格	備考	
2.5m 以上 4.0m 未満	—	機械	K1	ブルドーザ[普通・排出ガス対策型(第1次基準値)]3t級	
			K2	振動ローラ(舗装用)[搭乗式コンバインド型]質量3~4t	賃料
			K3	—	
		労務	R1	運転手(特殊)	
			R2	普通作業員	
			R3	—	
			R4	—	
		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油	
			Z2	—	
			Z3	—	
Z4	—				
市場単価	S	—			
4.0m 以上	10,000m ³ 未満	機械	K1	ブルドーザ[普通・排出ガス対策型(第1次基準値)]15t級	
			K2	タイヤローラ[普通型・排出ガス対策型(第2次基準値)]質量8~20t	賃料
			K3	—	
		労務	R1	運転手(特殊)	
			R2	普通作業員	
			R3	—	
			R4	—	
		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油	
			Z2	—	
	Z3		—		
	Z4		—		
	市場単価	S	—		
	10,000m ³ 以上	機械	K1	ブルドーザ[普通・排出ガス対策型(第1次基準値)]21t級	
			K2	タイヤローラ[普通型・排出ガス対策型(第2次基準値)]質量8~20t	賃料
			K3	—	
		労務	R1	運転手(特殊)	
			R2	普通作業員	
			R3	—	
R4			—		
材料		Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		
		Z2	—		
	Z3	—			
	Z4	—			
市場単価	S	—			

ページ

正

8. 道路工
⑩ 防護柵設置工
1. ガードケーブル設置工
1-3 ガードケーブルの種類
ガードケーブルの種類は、次表を標準とする。
表1.1 ガードケーブルの種類

区分	土 中 建 込 用	コ ン ク リ ー ト 建 込 用	ケーブル 条 数
	規 格		
路 側 用	Gc-A (※1) - (※2) E	Gc-A (※1) - (※2) <u>B</u>	5
	Gc-B (※1) - (※2) E	Gc-B (※1) - (※2) <u>B</u>	4
	Gc-C (※1) - (※2) E	Gc-C (※1) - (※2) <u>B</u>	3
	Gc-S (※1) - (※2) E	Gc-S (※1) - (※2) <u>B</u>	6
分離 帯用	Gc-Am (※1) - (※2) E	Gc-Am (※1) - (※2) <u>B</u>	8
	Gc-Bm (※1) - (※2) E	Gc-Bm (※1) - (※2) <u>B</u>	6

【訂正箇所】
・表 1.1 ガードケーブルの種類のコングリート建込用、規格欄のEをBに訂正する。

ページ

誤

8. 道路工
⑩ 防護柵設置工
1. ガードケーブル設置工
1-3 ガードケーブルの種類
ガードケーブルの種類は、次表を標準とする。
表1.1 ガードケーブルの種類

区分	土 中 建 込 用	コ ン ク リ ー ト 建 込 用	ケーブル 条 数
	規 格		
路 側 用	Gc-A (※1) - (※2) E	Gc-A (※1) - (※2) <u>E</u>	5
	Gc-B (※1) - (※2) E	Gc-B (※1) - (※2) <u>E</u>	4
	Gc-C (※1) - (※2) E	Gc-C (※1) - (※2) <u>E</u>	3
	Gc-S (※1) - (※2) E	Gc-S (※1) - (※2) <u>E</u>	6
分離 帯用	Gc-Am (※1) - (※2) E	Gc-Am (※1) - (※2) <u>E</u>	8
	Gc-Bm (※1) - (※2) E	Gc-Bm (※1) - (※2) <u>E</u>	6

843

15. 仮設工
⑭ 道路補修
5. 単価表
道路補修 1 路線当り単価表
施工単価構成表

名 称		規 格	数 量	単 位	単 価	備 考
(1)	普通作業員	表 5.1	表 3.1 × L × 2.4/100	人	1 路線当り算出	表 4.1
(2)	補足材料		表 3.1 × L	m ³		式 3.1
(3)	運転手（特殊）		表 3.1 × L × 運転労務 3 × 9.4/100 (P.115)	人		表 4.1
(4)	軽油	排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 普通 3 t 級	表 3.1 × L × <u>41</u> /100	ℓ	機損 2-1 (P.117)	表 5.2
(5)	ブルドーザ		表 3.1 × L × 9.4/100	時間		表 4.1
(6)	合計					Σ (1)~ (5)
(7)	単価		1.0	路線		(6)/1.0

(注) L : 使用路線延長 (km)

表 5.2 ブルドーザ機械運転数量

規 格	分類コード	燃料消費量 (ℓ /100m ³)
排出ガス対策型(第 1 次基準値) 普通 3 t 級	0101 012 030 001	<u>41</u>

【訂正箇所】
・燃料消費量について、平成 28 年 6 月 23 日付け正誤表で「48」を「42」に訂正したが、精査の結果「42」を「41」に再訂正する。

15. 仮設工
⑭ 道路補修
5. 単価表
道路補修 1 路線当り単価表
施工単価構成表

名 称		規 格	数 量	単 位	単 価	備 考
(1)	普通作業員	表 5.1	表 3.1 × L × 2.4/100	人	1 路線当り算出	表 4.1
(2)	補足材料		表 3.1 × L	m ³		式 3.1
(3)	運転手（特殊）		表 3.1 × L × 運転労務 3 × 9.4/100 (P.115)	人		表 4.1
(4)	軽油	排出ガス対策型 (第 1 次基準値) 普通 3 t 級	表 3.1 × L × <u>42</u> /100	ℓ	機損 2-1 (P.117)	表 5.2
(5)	ブルドーザ		表 3.1 × L × 9.4/100	時間		表 4.1
(6)	合計					Σ (1)~ (5)
(7)	単価		1.0	路線		(6)/1.0

(注) L : 使用路線延長 (km)

表 5.2 ブルドーザ機械運転数量

規 格	分類コード	燃料消費量 (ℓ /100m ³)
排出ガス対策型(第 1 次基準値) 普通 3 t 級	0101 012 030 001	<u>42</u>

ページ	正						誤					
288	⑰安定処理工(自走式土質改良工)						⑰安定処理工(自走式土質改良工)					
	5. 単価表						5. 単価表					
	5-2 安定処理工(自走式土質改良工)1m ³ 当たり単価表						5-2 安定処理工(自走式土質改良工)1m ³ 当たり単価表					
	施工単価構成内訳						施工単価構成内訳					
	1日(Am ³)当り算出						1日(Am ³)当り算出					
	名称	規格	数量	単位	単価	備考	名称	規格	数量	単位	単価	備考
	(1) 固化材		<u>表4.3× (式4.1×1/100)</u>	t		式4.1の固化材使用量は1m ³ 当りに換算して入力する。	(1) 固化材		<u>表4.3×(1+0.04)</u>	t		
	(2) 世話役		表4.2	人			(2) 世話役		表4.2	人		
	(3) 特殊作業員		表4.2	人			(3) 特殊作業員		表4.2	人		
	(4) 自走式土質改良機 [解砕・固化材混合式]	機械質量20t級	1.0×1.82	供用日	機損1-1 (P.116)	表5.1	(4) 自走式土質改良機 [解砕・固化材混合式]	機械質量20t級	1.0×1.82	供用日	機損1-1 (P.116)	表5.1
	(5) 軽油		115	ℓ		表5.1	(5) 軽油		115	ℓ		表5.1
(6) バックハウ [クローラ型/超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)]	標準バケット容量 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	1.0×1.80	日	機賃 (P.125)	表5.1	(6) バックハウ [クローラ型/超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)]	標準バケット容量 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	1.0×1.80	日	機賃 (P.125)	表5.1	
(7) 軽油		105	ℓ		表5.1	(7) 軽油		105	ℓ		表5.1	
(8) 運転手(特殊)		1.0	人		表5.1	(8) 運転手(特殊)		1.0	人		表5.1	
(9) 諸雑費	7%	0.07		Σ(2)~(8)		(9) 諸雑費	7%	0.07		Σ(2)~(8)		
(10) 合計					Σ(1)~(9)	(10) 合計					Σ(1)~(9)	
(11) 単価		1	m ³		(10)/A(表4.3)	(11) 単価		1	m ³		(10)/A(表4.3)	
【訂正箇所】												
(1) 固化材の数量欄に於いて、固化材使用量を誤り、「設計量×」を落とし「(1+0.04)」のみ表示していた。正しい「設計量×(1+0.04)」の表示=「式4.1」に訂正し、かつ、式4.1の固化材使用量を1m ³ 当りに換算して入力するため1/100を乗じている。備考欄に式4.1の入力説明を加えた。												

ページ	正
122	<p>I. 施工単価構成内訳の説明 2. 用語の説明及び計算方法 2.4 機械損料及び賃料 2.4.2 運転時間当り損料表示機械</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>機損 2-7 （運転 1 日当り損料（円／日））</p> <p>(1) 該当工事（超勤なし）における供用日当り運転時間／運転労務選定用供用日当り運転時間が 0.8～1.2 範囲内の場合で補正がない場合 機損 2-7 = <u>運転</u> 1 時間当り換算値（13 欄） × 1 日当り運転時間</p> <p>(2) 該当工事（超勤なし）における供用日当り運転時間／運転労務選定用供用日当り運転時間が 0.8～1.2 範囲内の場合で補正がある場合 機損 2-7 = （運転 1 時間当り損料（9 欄） × 補正係数 + 供用 1 日当り損料（11 欄） × 豪雪補正係数 / 運転労務選定用供用日当り運転時間） × 1 日当り運転時間</p> <p>(3) 該当工事（超勤なし）における供用日当り運転時間／運転労務選定用供用日当り運転時間が 0.8～1.2 範囲外の場合 機損 2-7 = （運転 1 時間当り損料（9 欄） × 補正係数 + <u>供用 1 日当り損料</u>（11 欄） × 豪雪補正係数 / <u>該当工事（超勤なし）における供用日当り運転時間</u>） × 1 日当り運転時間</p> <p>(4) 組み合わせ機械の従属機械の場合 機損 2-7 = （運転 1 時間当り損料（9 欄） × 補正係数 + <u>供用 1 日当り損料</u>（11 欄） × 豪雪補正係数 / 運転労務選定用供用日当り運転時間） × 1 日当り運転時間</p> </div> <p style="text-align: center;">略</p> <p>【訂正箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) <u>供用</u> 1 時間当り換算値を<u>運転</u> 1 時間当り換算値に訂正する。 ・ (3)、(4) の<u>運転 1 時間当り損料</u>を<u>供用 1 日当り損料</u>に訂正する。 ・ (3) <u>運転労務選定用供用日当り運転時間</u>を<u>該当工事（超勤なし）における供用日当り運転時間</u>に訂正する。

誤
<p>I. 施工単価構成内訳の説明 2. 用語の説明及び計算方法 2.4 機械損料及び賃料 2.4.2 運転時間当り損料表示機械</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>機損 2-7 （運転 1 日当り損料（円／日））</p> <p>(1) 該当工事（超勤なし）における供用日当り運転時間／運転労務選定用供用日当り運転時間が 0.8～1.2 範囲内の場合で補正がない場合 機損 2-7 = <u>供用</u> 1 時間当り換算値（13 欄） × 1 日当り運転時間</p> <p>(2) 該当工事（超勤なし）における供用日当り運転時間／運転労務選定用供用日当り運転時間が 0.8～1.2 範囲内の場合で補正がある場合 機損 2-7 = （運転 1 時間当り損料（9 欄） × 補正係数 + 供用 1 日当り損料（11 欄） × 豪雪補正係数 / 運転労務選定用供用日当り運転時間） × 1 日当り運転時間</p> <p>(3) 該当工事（超勤なし）における供用日当り運転時間／運転労務選定用供用日当り運転時間が 0.8～1.2 範囲外の場合 機損 2-7 = （運転 1 時間当り損料（9 欄） × 補正係数 + <u>運転 1 時間当り損料</u>（11 欄） × 豪雪補正係数 / <u>運転労務選定用供用日当り運転時間</u>） × 1 日当り運転時間</p> <p>(4) 組み合わせ機械の従属機械の場合 機損 2-7 = （運転 1 時間当り損料（9 欄） × 補正係数 + <u>運転 1 時間当り損料</u>（11 欄） × 豪雪補正係数 / 運転労務選定用供用日当り運転時間） × 1 日当り運転時間</p> </div> <p style="text-align: center;">略</p>

858	<p>15. 仮設工 ⑮パイプロハンマ工（鋼矢板・H形鋼） 6. 単価表 表 6.3 クローラクレーン機械運転数量</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>パイプロハンマ区分</th> <th>分類コード</th> <th>機械損料数量</th> <th>燃料消費量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">クローラ クレーン</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型 （第 1 次基準値） 油圧駆動式ウィン チ・ラチスジブ型 50～55t 吊</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>油圧式可変超高周波型 （ハット形鋼矢板用）</td> <td>0401 022 055 001</td> <td>1.30</td> <td style="text-align: center;"><u>483</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【訂正箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料消費量 <u>499</u> を <u>483</u> に訂正する。 	機械名	規 格	パイプロハンマ区分	分類コード	機械損料数量	燃料消費量	クローラ クレーン	排出ガス対策型 （第 1 次基準値） 油圧駆動式ウィン チ・ラチスジブ型 50～55t 吊	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	油圧式可変超高周波型 （ハット形鋼矢板用）	0401 022 055 001	1.30	<u>483</u>
機械名	規 格	パイプロハンマ区分	分類コード	機械損料数量	燃料消費量																				
クローラ クレーン	排出ガス対策型 （第 1 次基準値） 油圧駆動式ウィン チ・ラチスジブ型 50～55t 吊	略	略	略	略																				
		略	略	略	略																				
		略	略	略	略																				
	油圧式可変超高周波型 （ハット形鋼矢板用）	0401 022 055 001	1.30	<u>483</u>																					

<p>15. 仮設工 ⑮パイプロハンマ工（鋼矢板・H形鋼） 6. 単価表 表 6.3 クローラクレーン機械運転数量</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>パイプロハンマ区分</th> <th>分類コード</th> <th>機械損料数量</th> <th>燃料消費量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">クローラ クレーン</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型 （第 1 次基準値） 油圧駆動式ウィン チ・ラチスジブ型 50～55t 吊</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>油圧式可変超高周波型 （ハット形鋼矢板用）</td> <td>0401 022 055 001</td> <td>1.30</td> <td style="text-align: center;"><u>499</u></td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規 格	パイプロハンマ区分	分類コード	機械損料数量	燃料消費量	クローラ クレーン	排出ガス対策型 （第 1 次基準値） 油圧駆動式ウィン チ・ラチスジブ型 50～55t 吊	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	油圧式可変超高周波型 （ハット形鋼矢板用）	0401 022 055 001	1.30	<u>499</u>
機械名	規 格	パイプロハンマ区分	分類コード	機械損料数量	燃料消費量																			
クローラ クレーン	排出ガス対策型 （第 1 次基準値） 油圧駆動式ウィン チ・ラチスジブ型 50～55t 吊	略	略	略	略																			
		略	略	略	略																			
		略	略	略	略																			
	油圧式可変超高周波型 （ハット形鋼矢板用）	0401 022 055 001	1.30	<u>499</u>																				

ページ	正	誤																																																																																																																
1510	<p>(3) 積算例 コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">コンクリート 1m³当り単価表 (無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設(レディミックスト24-8-25(20)))</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th colspan="2">条件区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>積算単価</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">コンクリート</td> <td>略</td> <td>略</td> <td rowspan="3">m³</td> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">14,620</td> <td rowspan="3">z : 物価版等</td> </tr> <tr> <td>設計日打設量</td> <td>10m³以上 300m³未満</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table> <p>【訂正箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件区分、設計日打設量の 10m³/日 以上を 10m³ 以上に訂正する。 	コンクリート 1m ³ 当り単価表 (無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設(レディミックスト24-8-25(20)))						名称	条件区分		単位	数量	積算単価	摘要	コンクリート	略	略	m ³	1	14,620	z : 物価版等	設計日打設量	10m ³ 以上 300m ³ 未満	略	略	<p>(3) 積算例 コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">コンクリート 1m³当り単価表 (無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設(レディミックスト24-8-25(20)))</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th colspan="2">条件区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>積算単価</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">コンクリート</td> <td>略</td> <td>略</td> <td rowspan="3">m³</td> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">14,620</td> <td rowspan="3">z : 物価版等</td> </tr> <tr> <td>設計日打設量</td> <td>10m³/日以上 300m³未満</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table>	コンクリート 1m ³ 当り単価表 (無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設(レディミックスト24-8-25(20)))						名称	条件区分		単位	数量	積算単価	摘要	コンクリート	略	略	m ³	1	14,620	z : 物価版等	設計日打設量	10m ³ /日以上 300m ³ 未満	略	略																																																																
コンクリート 1m ³ 当り単価表 (無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設(レディミックスト24-8-25(20)))																																																																																																																		
名称	条件区分		単位	数量	積算単価	摘要																																																																																																												
コンクリート	略	略	m ³	1	14,620	z : 物価版等																																																																																																												
	設計日打設量	10m ³ 以上 300m ³ 未満																																																																																																																
	略	略																																																																																																																
コンクリート 1m ³ 当り単価表 (無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設(レディミックスト24-8-25(20)))																																																																																																																		
名称	条件区分		単位	数量	積算単価	摘要																																																																																																												
コンクリート	略	略	m ³	1	14,620	z : 物価版等																																																																																																												
	設計日打設量	10m ³ /日以上 300m ³ 未満																																																																																																																
	略	略																																																																																																																
1555	<p>(3) 積算例 表層(車道・路肩部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">表層(車道・路肩部) 1m²当り単価表</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th colspan="2">条件区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>積算単価</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">表層 (車道・路肩部)</td> <td>平均厚さ</td> <td>35mm以上 45mm未満</td> <td rowspan="4">m²</td> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="4">2,258</td> <td rowspan="4">z : 物価版等</td> </tr> <tr> <td>平均幅員</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>瀝青材料種類</td> <td>プライムコート PK-3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">単価計算書</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>構成比(%)</th> <th>東京(H27年4月)</th> <th>発注場所:千葉(H28年10月想定単価)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td colspan="2">材料(Z)</td> <td>55.75</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>5.10</td> <td>91</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td></td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table> <p>【訂正箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表層(車道・路肩部) 1m²当り単価表の条件区分、瀝青材料種類のプライムコート PK-4 をプライムコート PK-3 に訂正する。 単価計算書の代表機材規格、材料(Z)のZ2欄のPK-4 プライムコート用をPK-3 プライムコート用に訂正する。 	表層(車道・路肩部) 1m ² 当り単価表						名称	条件区分		単位	数量	積算単価	摘要	表層 (車道・路肩部)	平均厚さ	35mm以上 45mm未満	m ²	1	2,258	z : 物価版等	平均幅員	1.4m未満	材料	細粒度アスファルト混合物(13)	瀝青材料種類	プライムコート PK-3	単価計算書					項目	代表機材規格	構成比(%)	東京(H27年4月)	発注場所:千葉(H28年10月想定単価)		略	略	略	略	材料(Z)		55.75	-	-	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.10	91	91		略	略	略	略	<p>(3) 積算例 表層(車道・路肩部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">表層(車道・路肩部) 1m²当り単価表</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th colspan="2">条件区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>積算単価</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">表層 (車道・路肩部)</td> <td>平均厚さ</td> <td>35mm以上 45mm未満</td> <td rowspan="4">m²</td> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="4">2,258</td> <td rowspan="4">z : 物価版等</td> </tr> <tr> <td>平均幅員</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>瀝青材料種類</td> <td>プライムコート PK-4</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">単価計算書</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>構成比(%)</th> <th>東京(H27年4月)</th> <th>発注場所:千葉(H28年10月想定単価)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td colspan="2">材料(Z)</td> <td>55.75</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 プライムコート用</td> <td>5.10</td> <td>91</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td></td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table>	表層(車道・路肩部) 1m ² 当り単価表						名称	条件区分		単位	数量	積算単価	摘要	表層 (車道・路肩部)	平均厚さ	35mm以上 45mm未満	m ²	1	2,258	z : 物価版等	平均幅員	1.4m未満	材料	細粒度アスファルト混合物(13)	瀝青材料種類	プライムコート PK-4	単価計算書					項目	代表機材規格	構成比(%)	東京(H27年4月)	発注場所:千葉(H28年10月想定単価)		略	略	略	略	材料(Z)		55.75	-	-	Z2	アスファルト乳剤 PK-4 プライムコート用	5.10	91	91		略	略	略	略
表層(車道・路肩部) 1m ² 当り単価表																																																																																																																		
名称	条件区分		単位	数量	積算単価	摘要																																																																																																												
表層 (車道・路肩部)	平均厚さ	35mm以上 45mm未満	m ²	1	2,258	z : 物価版等																																																																																																												
	平均幅員	1.4m未満																																																																																																																
	材料	細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																																
	瀝青材料種類	プライムコート PK-3																																																																																																																
単価計算書																																																																																																																		
項目	代表機材規格	構成比(%)	東京(H27年4月)	発注場所:千葉(H28年10月想定単価)																																																																																																														
	略	略	略	略																																																																																																														
材料(Z)		55.75	-	-																																																																																																														
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.10	91	91																																																																																																														
	略	略	略	略																																																																																																														
表層(車道・路肩部) 1m ² 当り単価表																																																																																																																		
名称	条件区分		単位	数量	積算単価	摘要																																																																																																												
表層 (車道・路肩部)	平均厚さ	35mm以上 45mm未満	m ²	1	2,258	z : 物価版等																																																																																																												
	平均幅員	1.4m未満																																																																																																																
	材料	細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																																
	瀝青材料種類	プライムコート PK-4																																																																																																																
単価計算書																																																																																																																		
項目	代表機材規格	構成比(%)	東京(H27年4月)	発注場所:千葉(H28年10月想定単価)																																																																																																														
	略	略	略	略																																																																																																														
材料(Z)		55.75	-	-																																																																																																														
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 プライムコート用	5.10	91	91																																																																																																														
	略	略	略	略																																																																																																														
1561	<p>(3) 積算例 アスカーブ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">単価計算書</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>構成比(%)</th> <th>東京(H27年4月)</th> <th>発注場所:千葉(H28年10月想定単価)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>K1: ダンプトラックの損料は、供用1日当たり換算値(15)欄 ○○円 + タイヤ損耗費及び補修費(良好) ○○円の合計値である。</u></p> <p>【訂正箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単価計算書の下に K1: ダンプトラックの損料は、供用1日当たり換算値(15)欄 ○○円 + タイヤ損耗費及び補修費(良好) ○○円の合計値である。を追加する。 	単価計算書					項目	代表機材規格	構成比(%)	東京(H27年4月)	発注場所:千葉(H28年10月想定単価)		略	略	略	略	<p>(3) 積算例 アスカーブ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">単価計算書</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>構成比(%)</th> <th>東京(H27年4月)</th> <th>発注場所:千葉(H28年10月想定単価)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table>	単価計算書					項目	代表機材規格	構成比(%)	東京(H27年4月)	発注場所:千葉(H28年10月想定単価)		略	略	略	略																																																																																		
単価計算書																																																																																																																		
項目	代表機材規格	構成比(%)	東京(H27年4月)	発注場所:千葉(H28年10月想定単価)																																																																																																														
	略	略	略	略																																																																																																														
単価計算書																																																																																																																		
項目	代表機材規格	構成比(%)	東京(H27年4月)	発注場所:千葉(H28年10月想定単価)																																																																																																														
	略	略	略	略																																																																																																														